

# 広島市歯科医師会だより

一般社団法人広島市歯科医師会

第 93 号

(H27.1.13)

## 今月のピックアップ

執行部より

特集 第 12 回 本会事務局移転のあり方について現状報告	1 ページ
行事報告	
本川小学校「お口の健康教室」	3 ページ
新規開業会員との意見交換会「気軽に聞こう会・相談に乗ろう会 第 I 期」	3 ページ
第 5 回支部長・副支部長会	4 ページ
広島市教育長より感謝状贈呈	5 ページ
広島市歯科医師会クリスマスパーティー	6 ページ
支部だより	
中区支部	6 ページ
南区支部	7 ページ
西区支部	7 ページ
各部からの報告	
保険・医療対策部	8 ページ
情報調査部	9 ページ
広報部	19 ページ
12 月定例理事会報告	20 ページ
役員改め「委員長紹介」 わたしはダレでしょう！ No.15	23 ページ

## 執行部より

**特集** 広島市歯科医師会事務局の今後を考える。  
—広島県歯科医師会会館建設計画を受けて—

### 第 12 回 本会事務局移転のあり方について現状報告 —県歯会より「無償貸与」との提案を受けて—

はじめに

特集 広島市歯科医師会事務局の今後を考える 第 12 回となります。

本特集第 8 回から第 11 回までの 4 回にわたり、会館建設にかかわる現状報告と題して、県歯会会館建設に関わる各種委員会報告を含めた現状について報告して参りました。ご報告したとおり、少しずつ具体的検討がなされ、新会館に関わる諸事情が少しずつ明らかとなっています。

そんな中、今回市歯会事務局移転について県歯会より重要な提案がありましたので、それについてご報告するとともに、それに対する本会の対応についてお知らせいたします。

#### (1) 会館建設にかかわる現状報告 —補足— —応募した 3 者のうち 1 者が辞退—

前回、プロポーザル募集の公告に対して 3 者の応募があった旨ご報告しましたが、平成 26 年 12 月 25 日(木)開催の県歯会第 1 回会館建設小委員会において、荒川会長より 3 者のうち 1 者が応募を辞退した旨の報告がありました。

## (2) 会館建設に関する豆知識

—S造(鉄骨構造)、RC造(鉄筋コンクリート構造)、SRC造(鉄骨鉄筋コンクリート構造)の違い—

第1回会館建設小委員会では、新会館の構造について議論されました。今後の業者選定だけでなく、歯科医師会館の根本に関わる部分ですので、ここで豆知識として触れておきたいと思えます。

一般的にビル構造には、S造(鉄骨構造)、RC造(鉄筋コンクリート構造)、SRC造(鉄骨鉄筋コンクリート構造)があります。

詳しい説明は省きますが、ごくおおざっぱに言って(あくまで一般論ですが)、  
建築コスト

S造 < RC造 < SRC造

施工期間

S造 < RC造 < SRC造

(コンクリート構造(RC, SRC)より鉄骨構造(S造)の方が工期は短い)

耐久性(法的耐用年数)

S造(34年) < RC造(47年) ≤ SRC造(47年)

耐震性

S造 < RC造 < SRC造

その他、暖房効率、固定資産税、減価償却といったランニングコストにも違いがありますので、選択に際してはさまざまな観点からの判断が必要です。

通常のマンションなどはそのほとんどがRC造かSRC造で、現在の県歯会館もRC造です。S造としては、広島駅裏にできたイズミ本社やいわゆるショッピングモールの建物をイメージすると良いと思えます。なお、新会館の隣地に建設中の広島県医師会館は、耐震性などを重要視し最もコストの高いSRC造となっています。

先の委員会で議論になったのは、今回出したプロポーザル条件ではS造での提案しかないと思われるが、災害拠点としての理念も有する県歯会館がS造でよいのか、というものでした。今回のプロポーザル条件では、建築費13億円、延べ床面積5,000平米(1,515坪)であり建築費用の坪単価が約86万程度となり、現在の相場ではS造での提案しか考えられない、実際今回応募している1者のイメージ図では明らかにS造と思われるというものです。

建築費用を固定するなら、各部署の面積を縮小して延べ床面積を減らせば坪単価が上がり、RC、SRC造での構造が可能であり、そうすべきだという意見です。論拠のある意見と思われそうですが、すでにプロポーザルを公示した後の話でもあり、荒川会長からの答弁では、従前通りの条件で行きたいとのことでした。今後の推移を見守りたいと思えます。

## (3) 本会事務局移転のあり方について

—県歯会より「無償貸与」との提案を受けて—

平成26年10月22日(水)開催された、県歯会第2回会館建設委員会において荒川会長より、「市歯会、安芸歯会の区分買い取りによる入居について、県歯会監事より異論が出た。そのことも踏まえ、区分買い取りではなく、建築費用の負担を受けた“無償貸与”という形ではどうか？」との提案がありました。

突然の提案でしたので、平成26年12月25日(木)に県歯会会長室にて、本会三役と安芸歯会岡田会長、沢村専務理事とで、本件について協議を行いました。そこでは、荒川会長より改めて無償貸与についての説明があると同時に、最終的には市歯会、安芸歯会の判断にゆだねる、すなわち市歯会及び安芸歯会の判断で入居形態については決定する、とのことでした。

これを受け、平成26年12月27日(土)の市歯会理事会において本件に対する対応を協議しました。まず、今回の区分買い取りについては、荒川会長の様々な場での「区分買い取り」との発言を受け、市歯会として会館移転準備検討委員会での協議、各支部会での意見徴収などを経て、平成26年6月開催の第107回定時総会における第3号議案「広島県歯科医師会新会館建設に伴う本会事務局移転の方向性について承認を求める件」を上程し可決承認していただいた経緯があり

ます。また、現在の会館への入居に際し、当初の無償貸与との口約束が現在の賃貸契約へ結びついてしまった過去の経緯もあります。さらには、無償貸与の期限・条件、大規模災害発生時など予期せぬ事態への対応など、不透明な部分も多いことなども踏まえ、トータルの支払額の観点からは良い条件とも思われる「無償貸与」ではなく、当初予定通り「区分買い取り」の方針を変えないこと。また区分買い取りにおいては、当然ながら所有面積に応じた土地所有も含むことを理事会決議しました。

### 終わりに

新会館の詳細が明らかになってくるにつれて、いよいよ本会事務局移転の具体的検討を行う時期となります。執行部としましては、従前通り「会員への情報開示」を最大の優先項目とし、皆様のご意見を受けて、会員総意のもと、新会館への移転を行っていく所存です。

## 行事報告

### 本川小学校「お口の健康教室」

日時：平成 26 年 12 月 9 日(火)午前 10 時～11 時 45 分

場所：本川小学校内「本川ひろば」

広島市国泰寺地域包括支援センター主催の本川フレッシュ教室において、村山美由紀歯科衛生士が『「お口の健康教室」～歯とお口のお手入れ法～』と題して本川学区の成人男女を対象に講演を行った。

講演では、20 本以上の歯があれば生涯にわたりおいしく食事をする事ができることを説明し、実際の歯ブラシを使用しながらブラッシング指導を行った。また、咀嚼・嚥下機能低下には、お口の筋力低下や咬み合わせの喪失、唾液の減少なども影響することを指摘し、お口の体操と唾液マッサージの実習も行った。「パタカラ」の訓練では、発声だけでなく参加者全員でパタカラの替え歌を歌い、楽しく練習をすることができた。

また、「吹き戻し」を配布し口腔機能訓練について説明したところ、参加者は大変興味を持ち、しばらくの間、童心に戻りつつ熱中して吹く様子が伺えた。参加者全員が笑顔で実践したことが大変印象に残る講演会となった。

昨年度より参加人数も増え、実績を残してきた本教室を、今後ますます多くの地域高齢者の口腔衛生・機能向上に役立てていきたいと考えている。



講演会の様子

### 新規開業会員との意見交換会 「気軽に聞こう会・相談に乗ろう会 第Ⅰ期」

日時：平成 26 年 12 月 10 日(水)午後 7 時 30 分

場所：県歯会館 2 階「広島市歯会会議室」

山本智之専務理事の進行の下、土江健也会長の挨拶の後、標記会が行われた。

新規開業会員 16 名、市歯会役員 8 名による出席者紹介の後、熊谷宏副会長から歯科医師会の構成や関わり方、瓜生賢理事より「歯科点数表の解釈」の解釈について、本山智得理事より医療安全についての講演があった。その後、懇親会で意見交換会が行われた。新規開業会員同士、役

員との親睦の機会にもなり、非常に有意義な会となった。今後も数年毎に開催したいと考えている。最後に川原正照副会長の閉会の辞により終了した。



当日出席した市歯会役員及び新規開業会員

## 第5回 支部長・副支部長会

日時：平成26年12月17日(水)午後7時30分

場所：県歯会館2階「広島市歯会会議室」

標記の会が開催され、執行部からは土江健也会長以下三役が出席した。

始めに、土江会長より、各支部で各地対協との連携をより密にしていくことの大切さについて話があった。

また、過日行われた衆議院選挙のお礼、来年春の統一地方選挙において松井一實市長を後援していくことの確認が行われた。そして、1月19日(月)の「広島の社会保障と歯科医療政策」特別講演会の参集依頼があった。

報告、協議事項は以下のとおりである。

報告事項：

### 中区支部 平成26年

- 10月18日 江波地区多職種連携会議
- 10月19日 健康ソフトボール大会
- 10月27日 中区地域保健対策協議会  
講習会 (HM ネット)
- 10月31日 保険講習会
- 11月 8日 吉島地区多職種連携会議
- 11月15日 中区地域保健対策協議会  
講習会
- 11月28日 選挙対策説明会
- 11月29日 中区地域保健対策協議会  
講習会 (多職種連携)
- 12月 2日 岸田文雄候補 出陣式
- 12月10日 岸田文雄候補 決起大会

### 東区支部 平成26年

- 10月30日 東区子育て交流広場  
「ぼっぼ東」連絡会  
山崎副支部長出席
- 11月 7日 東区地域保健対策協議会  
救急蘇生研修会 3名出席  
JR 病院「AED、心肺蘇生」

- 11月19日 広島県医師会 HM ネット  
説明会
- 11月26日 南区医師会在宅医療研修会
- 11月28日 東区地域保健対策協議会  
在宅医療研修会 2名出席  
「在宅医療における窒息予防」
- 12月 5日 東区地域保健対策協議会  
医療安全研修会 3名出席  
講師：広島大学准教授  
日山亨先生「医療事故  
リスクマネジメント」
- 12月15日 東区地域保健対策協議会  
理事会
- 12月17日 第5回支部長・副支部長会議  
年末当番医：12月30日高山歯科  
12月31日細原歯科医院

### 南区支部 平成26年

- 10月13日 第15回南区ボランティアフェスティ  
バル台風接近の為、中止
- 10月15日 第4回支部長・副支部長会議
- 10月19日 健康ソフトボール大会
- 11月 3日 南区支部ゴルフコンペ  
(東広島カントリークラブ 北コース)  
7名参加 (県病院2名)



- 11月19日 ひろしま医療情報ネットワーク(HM ネット)が提供する在宅医療支援ツールに関する説明会(広島県医師会館)
- 11月20日 江夏俊央先生御母堂様(江夏陽子 75歳)ご逝去
- 11月26日 南区在宅医療医科歯科連携研修会  
(オリエタル広島)「最後までおいしく食べられる社会を目指して～広島市歯科医師会の取り組み～」講師：広島市歯科医師会公衆衛生部委員長 有馬 隆先生「口腔機能向上への舌圧測定・訓練の活用」講師：広島大学教授 津賀 一弘先生
- 11月28日 選挙対策説明会
- 12月 3日 南区支部忘年会及び長寿を祝う会(半べえ庭園)  
総勢 37名出席  
米寿：中村二郎先生  
古希：中島朋見先生
- 11月 5日 2014 県立広島病院医局会主催忘年会  
(ANA クラウン サザン広島)
- 西区支部 平成 26 年**
- 10月30日 西区地域保健対策協議会講演会「訪問歯科診療の現状」  
講師：藤田 友昭先生
- 11月 2日 西区民祭り 会員6名で

- 出展：口臭測定ならびに  
歯科相談を実施
- 11月28日 選挙対策説明会
- 12月 2日 平口ひろし候補 出陣式
- 12月 6日 西区支部定例会ならびに  
忘年会開催

協議事項：

- ①中区支部
  - ・HM ネットについて、広島市歯科医師会としての展望
  - ・日本歯科医師会会長選挙、広島市長選挙、統一地方選挙への各支部の対応について
- ②東区支部
  - ・各支部の支部会費と行事・慶弔費とプール金についてお教え頂きたい
- ③南区支部
  - ・各支部の支部役員の選定方法をお聞きしたい。
- ④西区支部
  - ・広島市歯科医師会の代議員は、支部会員の意見を反映する上で、2名は支部長、副支部長が担当するというのを西区支部で提案したいのですが、これは支部での協議になるのか、広島市歯科医師会で取り決めて頂く事項なのか。
- ⑤執行部
  - ・懲戒委員会について
- ⑥日本歯科医師会、広島県歯科医師会、広島市歯科医師会 会長選挙について
- ⑦その他

## 広島市教育長より感謝状贈呈

日時：平成 26 年 12 月 19 日(金)午前 11 時

場所：広島市役所北庁舎 6 階「教育委員室」

広島市より一般社団法人広島市歯科医師会へ感謝状が贈呈された。

これは、広島市の公立の幼稚園および保育園、私立の幼稚園および保育園、広島特別支援学校に広島市歯科医師会が作成した紙芝居「わははのおはなし」を広島市歯会、安佐歯会、佐伯歯会及び安芸歯会の 4 地区歯科医師会共同で寄贈したために贈られた。

贈呈式には、広島市より尾形完治広島市教育長、隅田一成学校教育部長、長谷富美健康教育課長のご列席のもと、土江健也広島市歯会会長、甲野峰基佐伯歯会会長に尾形完治広島市教育長よりそれぞれ手渡された。

贈呈式の前に尾形教育長より、このたびの紙芝居の寄贈に対し感謝の意が述べられ、また教育長のお孫様にも使用され大変喜ばれたことなどお話された。また、広島市としても「噛ミング 30」運動の推進など食育に力を入れており、今後ともご協力をお願いしたい旨のお話があった。



感謝状贈呈式の様子

## 広島市歯科医師会クリスマスパーティー

日時：平成 26 年 12 月 20 日(土)午後 4 時 30 分

場所：ANA クラウンプラザホテル広島 3 階「オーキッド」

恒例の広島市歯会クリスマスパーティーが開催された。

今年の演目は、「小柳ルミ子 Xmas スペシャルライブ&ディナー」で 304 名の出席者が、彼女の美声に酔いしれた。「お久しぶりね」で登場すると、会場のボルテージは一気に上がった。往年のヒット曲や新曲を披露し、年齢を感じさせないパワフルな歌声やスタイルに、会場の誰もが魅了された。彼女がステージを降りテーブルを回ると、皆が握手を求めて賑わった。アンコールでは「瀬戸の花嫁」を披露し、観客は待ってました、とばかりに一緒に名曲を口ずさんだ。また美食家たちも大満足のフレンチに舌鼓をうちながら、抽選会を行い、豪華な景品が当たるたびに大きな歓声上がり大盛り上がりのうちに終宴を迎えた。

保険・医療対策部では来年度以降も会員、関係者の皆様に喜んで頂ける企画をしていくので多くの参加をお願いしたい。



挨拶する土江健也市歯会会長



会場の様子

## 支部だより

### 中区支部

#### 中区在宅医療推進研修会（広島県在宅医療人材育成基盤整備事業）

日時：平成 26 年 11 月 29 日(土)午後 2 時～午後 4 時

場所：大手町平和ビル 5 階「大会議室」

多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成を目的に、標記研修会が開催された。宮城昌治中区健康長寿課課長の司会のもと、森田健司中区地域対策協議会会長の挨拶に始まり、海生英二郎かいせいクリニック院長が中区在宅医療推進拠点整備事業報告を行った。

その後、医師、歯科医師、薬剤師、ヘルパー、ケアマネージャー等の多職種が地域包括支援センター圏域ごとに 11 グループに分かれ、グループワークを行った。まずはグループ内で顔の見える関係作りを行い、次に退院支援をテーマにした事例に対し、「それぞれが担当

者になった場合にどのような支援が出来るのか」「その際に多職種とどのような連携が出来るのか」を検討し、各グループが発表を行なった。各グループの発表から非常に充実した検討がなされたことが伺われた。しかし、実際の退院時のカンファレンスにおいては、参加職種が限られているなど、その連携や内容等についての課題があることも伺われた。

歯科医師の立場からは、摂食嚥下障害の改善、誤嚥性肺炎の予防、そして口腔内清掃の実施といった関わり方を提示したが、今後の

在宅医療においては各職種が本来の役割のみを担うに留まらず、専門領域以外でもオーバーラップし、切れ目のない在宅医療を目指すための情報共有、知識・技術習得の必要性も感じた。

本支部からは荒谷恭史氏、石嶋誠司氏、川原正照氏、小松大造氏、波田佳範氏、前田羊一氏が参加した。本支部は地域包括ケアシステムの実現に向けて、今後もこの様な研修会には積極的に参加する所存である。



出務した中区支部会員

---

## 南区支部

---

### 南区支部忘年会及び長寿を祝う会

日時：平成 26 年 12 月 3 日(水)午後 7 時

場所：半べえ庭園

南区支部忘年会及び長寿を祝う会が上記場所で行われた。当日は、広島市歯会から土江健也会長、川原正照副会長、山本智之専務理事、県病院から桐山健歯科主任部長、延原浩歯科部長、南区 5 地区包括支援センター長に出席頂き、総勢 40 名の参加で行われた。

忘年会は、小笠原健南区支部理事の司会のもと、森永行雄南区支部支部長の歓迎の挨拶の後、土江健也広島市歯会会長の挨拶、桐山健県病院歯科主任部長の挨拶、包括支援センターを代表して半澤寛正翠町支援センター長の挨拶に続き、出崎邦彦氏の乾杯により始まった。

しばらく歓談後、長寿を祝う会が始まった。今年は、藪本守氏が卒寿、中村二郎氏が米寿、

森本克廣氏、武田明信氏、中島朋見氏が古希を迎えられた。当日は、米寿の中村二郎氏、古希の中島朋見氏にご出席頂き、お祝いのお礼のご挨拶をされた。

その後、新入会員の水町亘氏、山本玲子氏の紹介と挨拶が行われた。また、大出和宏南区支部理事により、ソフトボール大会の結果報告が行われた。また、大保順一南区支部顧問により、ゴルフコンペの結果報告が行われた。

その後、料理に舌鼓を打ちながら親睦を深めた。

最後に、和泉元昌代副支部長の閉会の辞により、盛況のうちお開きとなった。

---

## 西区支部

---

### 平成 26 年西区支部忘年会

日時：平成 26 年 12 月 6 日(土)午後 7 時

場所：「木松旅館」

表記会が来賓に土江健也市歯会会長、川原正照市歯会副会長、熊谷宏市歯会副会長、山

本智之市歯会専務理事、砂原克規広島県議会議員らをお迎えし開催された。それに先立っ



て、午後 6 時 30 分より 12 月定例支部会が開かれ、午後 6 時 45 分より来賓を交えた写真撮影と続き、いよいよ午後 7 時より忘年会の開始となった。福島一則副支部長司会進行により、支部長挨拶、次期支部長・副支部長の紹介が行われ、次期支部長田中亮三氏より挨拶があり、引き続き来賓紹介と来賓の土江会長、砂原県議より挨拶があった。いよいよ木本極氏の乾杯音頭で宴会が始まった。新入会員の

松村英朗、森川英彦両氏の紹介の後、和気あいあいと話が進むうちに余興の時間となる。次期副支部長、窪内信男氏の進行により今年は「ストローによる早飲み競争」で一回戦はビール 2 回戦は日本酒と続き、伊藤茂氏が日ごろの鍛錬(?)の成果で優勝の栄冠に輝いた。さらに定番「ビンゴゲーム」で盛り上がり、午後 9 時 30 分に副支部長の閉会の辞で終了した。



参加した西区支部会員

## 各部からの報告

### 保険・医療対策部

## 少額の減価償却資産の判定

\*\*\*\*\*

法人が取得した減価償却資産のうち次のいずれかに該当するものについては、少額の減価償却資産となり、この減価償却資産の事業の用に供した事業年度において、その取得価額に相当する金額を損金経理した金額は、損金の額に算入されます。

(1) 使用可能期間が 1 年未満のもの

法定耐用年数ではなく、その法人の営む業種において一般的に消耗性のものと認識され、かつ、その法人の平均的な使用状況、補充状況などからみて、その使用可能期間が 1 年未満であるものをいいます。なお、平均的な使用状況、補充状況等は、おおむね過去 3 年間の平均値を基準として判定します。

例えば、テレビ放映用のコマーシャルフィルムは、通常、法定耐用年数 2 年の減価償却資産に該当しますが、テレビ放映の期間が 1 年未満のものは、「使用可能期間が 1 年未満のもの」となります。

(2) 取得価額が 10 万円未満のもの

この取得価額は、通常 1 単位として取引されるその単位ごとに判定します。例えば、機械及び装置は 1 台又は 1 基ごとに、工具、器具及び備品は 1 個、1 組又は 1 そろいごとに、応接セットは、通常、テーブルと椅子が 1 組で取引されるため、1 組で 10 万円未満になるかどうかを判定します。また、カーテンの場合は、1 つの部屋で数枚が組み合わされて機能するため、部屋ごとにその合計額が 10 万円未満になるかどうかを判定します。



なお、少額の減価償却資産の消費税の仕入税額控除を行う時期は、事業の用に供した日ではなく、取得した日となりますので注意が必要です。

\*\*\*\*\*

## 情報調査部

リンク切れはご容赦ください

### 今月の知っておきたいこと

広歯月報平成 26 年 9 月号でも紹介されました。  
再度ご確認ください。

#### 医療ADRのご案内

広島弁護士会仲裁センター

#### 1 医療ADRとは

医療ADR（裁判外紛争解決手続）は、裁判ではなく、話し合いで医療に関する紛争を解決する手続であり、非公開の話し合いによって、簡易・迅速・柔軟に医事紛争を解決できるという点に特徴があります。

医事紛争は、深刻な紛争であっても、きっかけは些細なコミュニケーションの不足や認識のずれであるということも少なくありません。

したがって、何らかのトラブルが起きた場合、コミュニケーション不足等を解消することで裁判によらなくても当該紛争を解決できる余地があるはずであり、医療ADRは、そのような話し合いの場を提供しようというものです。

そのためには、ADRが当事者・関係者から信頼される制度であることが大前提ですので、手続を主催する仲裁人は、患者側・医療側のいずれにも偏ることなく中立的な立場で、相手の責任追及や非難の場にならないよう配慮をしながら、示談のあっせんにあたります。また、仲裁人は、医事紛争の取扱い経験が豊富な弁護士が選任されますので、事案の把握や示談内容の調整等においても、各自の経験をふまえながら、説得力ある説明や助言を行うことができます。

医療ADRによる解決例としては、金銭賠償ではなく、治療内容や後遺障害の原因等の説明で終了した事案や転院の調整を行うことで解決したという事案もあります。また、とりわけ歯科の場合、低額・軽微な事案や争点を単純化しやすい事案も多く、ADRによる解決に適しているとの指摘もなされています。医事紛争が訴訟になれば、原告側、被告側双方が時間的、経済的、精神的に多大な負担を負うこととなります。

#### 2 広島弁護士会の医療ADR

広島弁護士会は、平成22年1月より仲裁センター（紙屋町そごう新館6階）に医療ADRを設置しています。

これまでに係属した9件（小児歯科、内科、産婦人科、皮膚科、小児科、皮膚科、耳鼻咽喉科、麻酔科）のうち7件は、話し合いで解決（和解が成立）しており、和解率は非常に高いといえます。

手続の概略は次のとおりです。

- ① 申立人（患者、医療機関いずれからも申立て可）が簡単な言い分を記載した申立書を提出（申立費用は一律10,800円）。
- ② 申立てを受けた相手方には、申立てに対する言い分等を簡単に書面に記載して頂きます（訴訟のような膨大な証拠資料等は不要）。書面は申立人にも開示しないのが原則です。
- ③ 示談あっせん期日において（事情が分かる方等の代理出席も可）、仲裁人2名が双方からお話をしながら、事案の整理、話し合いによる解決の余地があるか否かの確認、合意内容の調整等を行いません。

このような期日を3回程度実施し、合意が成立すれば書面を作成し調印して解決となります。

合意が成立した場合、成立額に応じて、仲裁センターが定める手数料（例えば、解決金額が100万円未満の場合、その8.4%、最低額は54,000円）を仲裁センターにお支払いいただきます（仲裁人が当事者から手数料や報酬をいただくことはありません）。

医療ADRによる医事紛争の解決は、当事者双方にとって大きなメリットがありますので、是非ご利用いただきたいと思っております。ご不明な点がございましたら、広島弁護士会仲裁センター（TEL082-225-1600）にお問い合わせ下さい。

## ニュースピックアップ

### ▼介護報酬など適正化、社保の水準極力抑制—諮問会議が来年度予算編成の原案議論

Yahoo! ニュース

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20141222-00000005-cbn-soci>

政府の経済財政諮問会議（議長=安倍晋三首相）は22日、来年度予算編成の基本方針の原案をめぐり議論した。同案では、同年4月に予定される介護報酬改定で、介護職員の処遇改善などの推進と、経営状況などを踏まえた報酬の適正化などに取り組むと明記。社会保障の歳出の徹底した効率化・適正化で、「極力全体の水準を抑制する」とした。

### ▼首相 歳出の聖域なき見直しを指示

NHK NEWS WEB 12月22日 19時42分

<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20141222/k10014201571000.html>

安倍総理大臣は経済財政諮問会議で、編成作業が進められている来年度・平成27年度予算案を巡り、関係閣僚に対し、財政健全化に向けて、高齢化などで毎年1兆円程度増え続けている社会保障費も含めて歳出を聖域なく見直し効率化を図るよう指示しました。

22日、総理大臣官邸で開かれた経済財政諮問会議で、政府側は、財政健全化に向け、**社会保障費のいわゆる「自然増」分についても聖域なく見直し歳出の削減を図る**などとした「来年度・平成27年度予算編成の基本方針」の案を示しました。

また、民間議員は、平成32年度に基礎的財政収支を黒字化するという政府の財政健全化目標の達成に向けて、「経済再生・財政健全化計画」を来年夏までに策定したうえで、計画の進捗（しんちよく）状況を毎年度検証し、その結果を翌年度の予算編成などに反映させるよう提言しました。

これを受けて安倍総理大臣は、来年度予算案を巡り、「来年度、国と地方の基礎的財政収支の赤字を半減させるという目標を達成するため、最大限努力していく。社会保障費の『自然増』も含め聖域なく見直し、歳出の徹底的な重点化・効率化に取り組んでいくことが重要だ」と述べ、関係閣僚に対し、高齢化などで毎年1兆円程度増え続けている社会保障費も含めて歳出を聖域なく見直し、効率化を図るよう指示しました。

政府は今日27日に「来年度・平成27年度予算編成の基本方針」を閣議決定し、予算案の編成作業を加速させる方針です。

内閣府 第20回経済財政諮問会議

<http://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/minutes/2014/1222/agenda.html>

平成27年度予算編成の基本方針（案）

[http://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/minutes/2014/1222/shiryu\\_04.pdf](http://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/minutes/2014/1222/shiryu_04.pdf)

### ▼社会保障費抑制などで国債発行圧縮へ

NHK NEWS WEB 12月22日 5時43分

<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20141222/k10014170351000.html>

編成作業が進められている来年度予算案では、借金として新たに発行する国債の額が、企業業績の回復による税収の増加などで今年度よりも減る見通しですが、政府は財政健全化の目標の達成に向け社会保障費の抑制など経費の一段の削減を進め、国債の発行をさらに圧縮する方針です。

政府は来月14日の閣議決定を目指し、来年度予算案の編成作業を進めています。

このうち借金として新たに発行する国債の額は、企業業績の改善や賃上げに伴う税収の増加などで、今年度の発行予定額である41兆2500億円よりも減る見通しになっています。

ただ、来年度は財政健全化の目標の達成年度となっているため、政府は経費の一段の削減を進め、来年度の国債の発行をさらに圧縮する方針です。

具体的には、**介護報酬の引き下げなどによる社会保障費の抑制**や、地方自治体の税収不足を補うため地方交付税に上乗せされている「別枠加算」の見直しなどに取り組み、新規の国債の発行額を6年ぶりに40兆円を下回る水準とすることを目指しています。

一方、政府は、今日27日に取りまとめる経済対策の規模を3兆円台半ばとする方向で調整していますが、財源には税収の増加分などを活用することで、今年度の国債の発行も当初の見込みよりも減額する方向で調整しています。

歯科医師らが正しい情報を発信していかなければ・・・

## ▼みんなの歯科ネットワーク、公開勉強会を開催／講師に慶應大の権丈教授を招聘

Quint Dental Gate

<http://www.quint-j.co.jp/web/topic/topi.php?no=1601>

平成 26 年 12 月 14 日（日）、佃区民館（東京都）において、特定非営利活動法人みんなの歯科ネットワーク公開勉強会「権丈教授に聞く 増える社会保障費をどう凌ぐのか？～混合診療？自己負担増？～」（榎本 純理事長）が開催された。権丈善一氏（慶應義塾大商学部教授）が講師として招聘され、「社会保障制度の中の歯科医療」と題するテーマで講演が行われた。

権丈氏は、医科とくらべて自由診療収益の割合が多い歯科の保険制度の特徴について述べる一方で、8020 運動の成果や口腔機能管理の重要性などを挙げながら、医科と同じ枠組みで運営されている保険制度を従来の疾病対応型から予防中心型に修正する必要性があると言及。そのためには、歯科医療の専門家である歯科医師らが正しい情報を発信していかなければならないと指摘した。

また、わが国の厳しい財政状況のなかで財政再建のための消費税増税の必要性を強調。そして社会保障制度をめぐる動きについて、数多くの統計データや自身が委員を務めた社会保障制度改革国民会議の報告書を挙げながら、今後の医療・介護のサービス提供体制などについて詳しく解説した。医療経済や社会保障政策について造詣が深い権丈氏の鋭い視点や考え方に、参加者は熱心に耳を傾けていた。

## ▼特定保健指導の参加者でメタボ医療費が 3 割減

ヘルスデージャパン

[http://www.healthdayjapan.com/index.php?option=com\\_content&view=article&id=5442%3A320141215&catid=30%3A-sections-39&Itemid=121](http://www.healthdayjapan.com/index.php?option=com_content&view=article&id=5442%3A320141215&catid=30%3A-sections-39&Itemid=121)

特定健診（いわゆるメタボ健診）後に特定保健指導を受けた人では、受けなかった人よりメタボ関連疾患にかかる医療費が 3 割以上低いことが、厚生労働省ワーキンググループ（WG）の調査で分かった。

調査では、保健診療費に与える短期的効果を検証するため、2008～11 年度に初めて保健指導対象となった約 22 万人について、その翌年度に糖尿病、高血圧症、脂質異常症にかかった通院医療費を比較した。その結果、08 年度の特定保健指導参加者では、非参加者に比べて男性は 5,340 円（34.8%）、女性は 7,550 円（34.0%）、医療費が抑えられたことが分かった。WG は、糖尿病合併症などへの効果についても年度内に公表するとしている。（HealthDay News 平成 26 年 12 月 8 日）

### Point of View

◎なるほど、特定保健指導は効果ありということですね。確かにそうかもしれませんが、どうもこの「メタボ健診」という呼び名はあまり良い印象を受けませんね。ほかに良い呼び方はないのでしょうか。それに、半ば強引に指導を受けさせるようなやり方に反感を感じてしまう方も中にはおられるのではないのでしょうか。

## ▼医師 880 人に聞く 自ら実践する二日酔い対策

日本経済新聞 <http://www.nikkei.com/article/DGXMZ080788100R11C14A2000000/>

忘年会シーズンに入り、ほぼ連日飲み会という人もいるのでは。ところで、体のメカニズムに詳しい医師たちは、飲み会前に実際にどんな対策を講じているのか。二日酔いになったら、どう対処しているのだろうか。医師 879 人への独自調査の結果、一般人と同様、薬局などで買える市販薬や食品を愛用している医師が 10 人に 1 人はいて、二日酔いの医師の半分が、水分補給を第一に行っている実態が明らかになった。

医師は二日酔いに秘策あり？ (c) Graphs / PIXTA

体のメカニズムに詳しく、“健康の専門家”とも言える医師は、とっておきの悪酔いや二日酔い対策法を知っているに違いない。

そんな安易な期待から、医療従事者向けサイト、日経メディカル Online の医師会員を対象に、「忘年会直前！緊急調査」を敢行した（有効回答 879 人）。

集計したところ、「医師も人の子」を感じさせる“意外”な結果がまとまった。

■65%が何の対策も講じず飲み会へ

まず、「忘年会や新年会などの酒席の前や、その場で、悪酔いや二日酔いの対策を講じているかどうか」について聞いた。その結果が図 1。いつも、あるいは時々対策を講じる医師は 35%で、65%の医師は、何の対策も講じず飲み会に向かっていた。まあこのあたりは一般人と同じ傾向といえそうだ。



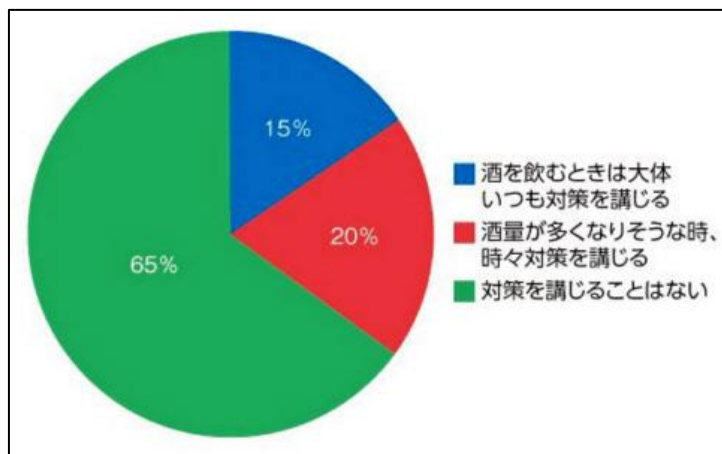


図1◎ 酒席の前、あるいはその場で二日酔い対策を講じている医師は？ (n=879)

■医師の対策は「飲む量を調節する」が1位

次に、対策を講じている医師に、その手法を聞いた。結果が図2。市販薬やサプリメントを活用している医師が12%、飲み方を工夫するが20%、料理を食べるようにするが11%であった（なお図1で対策を講じないと答えた医師には「対策を講じることはない」を選択してもらった）。

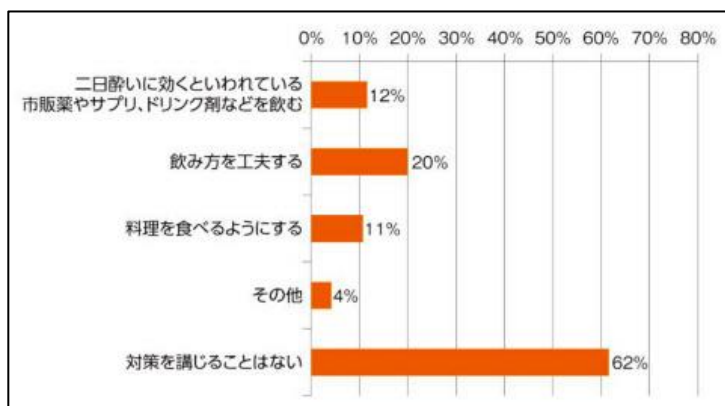


図2◎ 医師が飲むときにとる二日酔い対策は？ (n=879、複数回答)

「飲み方を工夫する」では88人が「飲む量を調節する」と答えていた。自由意見には「飲み過ぎないようにするだけ」「最初から飲む量を決めておく」「後半はノンアルコールにする」「午前0時以降は飲まない」等のコメント。アセトアルデヒドが悪酔いや二日酔いの原因であることを理解した上での、専門家の冷静な対応法といえる。

次いで多かった答えが「水、ソフトドリンク、ノンアルコールビールなどを途中で適宜飲む」というもので27人。飲酒途中の水分摂取を医師も実践しているというわけだ。このほかの答えは「ゆっくり飲む」が17人、「飲み会の前に食べ物をあらかじめ摂取」が14人、「ちゃんぽんを避ける」が5人だった。

■医師も頼る「ウコン」、「五苓散料」が思わぬ人気

さて、先でも触れたように、12%の医師が二日酔い予防に市販薬などを活用しているとの結果が出ているが、具体的にどんな市販薬、健康食品を活用しているのだろうか。1位は「ウコンの力」などのウコンが入った飲料で49人。2位が「ヘパリーゼ」ブランドの市販薬と漢方薬の「五苓散料」で、ともに8人であった。このほかには「ハイチオールC」「ソルマック」「大正漢方胃腸薬」「H2 ブロッカー」などが数票ずつ獲得していた。

酒飲みの医師の間でも、ウコンの人気は圧倒的に高い一方、一般人があまり選びそうもない「五苓散料」が上位に入っているのが興味深い。なお、同じ漢方系市販薬では「黄連解毒湯」を4人が選んでいた。二日酔いに効くとされる主な市販薬、飲料については表1を参照されたい。

商品名(販売)	主な効能	主な有効成分	有効成分の主な動き	種別
ソルマック EX2 (大鵬薬品)	二日酔いのむかつきや胃もたれ、食欲不振などを改善する	ウコン流、カンゾウ抽出物、エンメイゾウエキス、ゲンチアナチンキ、オウレンチンキ、ケイヒチンキ、ソウジュツ流エキス、カルニチン塩化物	胆汁の分泌を促進する。解毒作用、粘膜修復作用があり、胃腸の消化、呼吸機能を高める。胃酸の分泌を促進し、働きをよくする	第2類医薬品
ハイウルソエース内服液 (佐藤製薬)	胃もたれや吐き気などを改善する	ウルソデオキシコール酸、カンゾウエキス、ニンジンエキス、ウイキョウチンキ、ショウキョウ流エキス、ケイヒ流エキス	胆汁の分泌、脂肪分解を促進する。解毒作用、粘膜修復作用があり、胃腸の消化、吸収能力を高める。消化不良、食欲不振、胃弱を改善する	第2類医薬品

五苓散料 (ツムラ、ほか各社)	めまい、はきけ、嘔吐、腹痛、頭痛、むくみなどのいずれかを伴う二日酔いの改善	五苓散(タクシャ、ソウジュツ、チョレイ、ブクリョウ、ケイヒのエクス)	のどが渇いて尿量が少ないもので、めまい、はきけ、嘔吐、腹痛、頭痛、むくみなどのいずれかを伴う次の諸症:水様性下痢、急性胃腸炎、暑気あたり、頭痛、むくみ、二日酔い	第2類医薬品
ハイチオールCプラス (エスエス製薬)	二日酔いや全身の倦怠感を改善する	L-システイン、パントテン酸カルシウム、ビタミンC	アルコールを無毒化するときに働く酵素の働きを助ける。肝細胞の新陳代謝を正常化する。シミの原因となるメラニンの生成も抑制	第3類医薬品
新ヘパリーゼプラス (ゼリア新薬工業)	滋養強壮、胃腸機能の改善	肝臓水解物、ジクロロ酢酸ジイソプロピルアミン、ビタミンB2	哺乳類の肝臓を消化吸収しやすいように分解したもの。肝臓の働きを助け、疲れを改善する。エネルギー代謝に必要なビタミン補充	第3類医薬品
新黒丸 (第一三共ヘルスケア)	二日酔いのむかつきや胃もたれなどの症状を改善する	オウゴン乾燥エキス、オウバク乾燥エキス、オウレンエキス、ショウキョウ末、ニンジン末、ウコンエキス、ウルソデオキシコール酸	胃の働きを高め、食欲を増進、嘔吐を抑制する。消化不良、食欲不振、胃弱を改善する。胆汁の分泌を促進し、肝臓の解毒作用を助ける	第3類医薬品
ウコンの力 (ハウスウェルネスフーズ)	肝臓の働きを助ける	ビスアクロン、クルクミン、ビタミンB6、ビタミンC	アルコールの代謝を促進し、肝障害を抑制。肝臓の解毒機能を高め、胆汁の分泌を促す。タンパク質、脂質の代謝を助ける	食品

表1◎ 二日酔いに“効く”とされる市販薬、飲料（各メーカーの資料を基に作成）

■「水分」こそが「二日酔いの万能薬」

では実際に二日酔いの朝を迎えた医師は、どんな対策を取っているか。その結果が図3だ。「水分を摂取する」が56%でダントツ。「市販薬やサプリ、ドリンク剤などを飲む」と「風呂に入る」が8%ずつだ。この連載でも解説してきたように、「水分」こそが「二日酔いの万能薬」であることが、今回の調査結果からもわかる。

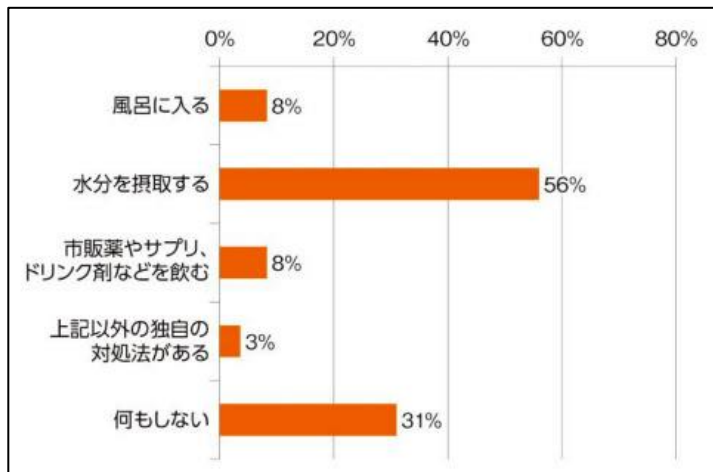


図3◎ 医師が二日酔いになったときにとる対策は？（n=879、複数回答）

何はともあれ水分補給。(c) milla74 -123rf

最後に、医師が二日酔いの時に飲む「市販薬やサプリ、ドリンク剤」の内容も見ておこう。回答数の多いものから順に「ポカリスエット、アクエリアス、OS-1などの飲料水」が27人、「ウコンの力」などのウコン入り飲料が8人、「五苓散料」が7人、「黄連解毒湯」が2人であった。

このほか、医療機関で処方される消化性潰瘍の薬、PPI（プロトンポンプインヒビター、商品名は「タケプロン」「パリエット」ほか）を挙げた医師が5人いた。以上の結果からも水分補給の重要性がわかるが、同時に「五苓散料」の医師の間での隠れた人気もうかがえる。

「医師も人の子」。医師だからできる特殊な二日酔い対策などなく、普通の人々と同じように、地道にお酒と闘っているのです。

(文：千田敏之＝日経BP社医療局編集委員)



### Point of View

◎お医者さんでも、飲酒に関していろいろ苦労されているようです。対策も画期的なものがあると思いきや、意外に他の一般人とあまり変わらず、基本的には「水分補給」と「ドリンク剤」が主流のようです。一番は「飲み方を工夫する」・・・つまり二日酔いにならないためには予防が第一だということです。

## ▼馬の歯治療通じ体調管理

YOMIURI ONLINE <http://www.yomiuri.co.jp/job/wlb/offon/20141114-0YT8T50111.html>

獣医師の伊藤桃子さん(39)は、日本では数少ない馬の歯医者だ。

愛知県を拠点に、東海や関西地方の競走馬の育成牧場や乗馬クラブなどを回り、週に約100頭を診察する。「欧米と比べ日本では、馬の歯科治療は遅れている。しかし、歯の健康は人間と同じで、とても重要なのです」馬は切歯(前歯)で草を引きちぎり、奥の臼歯で細かくすり潰してからのみ込む。消化のかなりの部分をそしゃくに頼っているという。

歯のトラブルでよく見られるのが、かみ合わせが悪いために臼歯が均等にすり減らず、一部が鋭利に残るケース。口の中を傷つけ、食欲を失ってしまう。専用のヤスリで丁寧に削って形を整える。もちろん、虫歯の治療も行ふ。

歯の状態は、馬と乗り手との関係に影響する。馬がくわえた「はみ」で動きをコントロールする際、歯の痛みが原因で思うように指示が伝わらないことがある。「治療を通じて、馬と乗り手の一体感を少しでも高めていきたい」と話す。

馬との付き合いは、小学生時代を過ごした米国での乗馬体験にさかのぼる。名古屋大学では馬術部に所属した。大手自動車メーカーに就職したが、馬に関する仕事をしたくて退社。豪州に渡り、馬にマッサージを施す民間資格を取得した。

愛知県の育成牧場で働いていた時、豪州の歯科技師に通訳として同行する中、歯が原因で馬の体に不調が起きることを知った。

歯科治療の重要性を実感して、ニュージーランドに渡って歯科技師の専門学校を修了。帰国後、大学に入り直し35歳で獣医師免許を取得した。「体の不調が原因で歯に影響が出ることも知った。歯だけではなく、馬の体全体を診ることも大切なんです」

講演を頼まれることも多く、10月も東京や北海道で、獣医師を対象に、遅れている日本の現状を訴えた。「歯を含めて、馬の体をトータルで診られる人が一人でも増えてくれれば」。馬の歯医者の先駆者として力を尽くすつもりだ。(西内高志)

### 【休日】娘とおやつ作り 明日への活力

定休日は金曜だが、急を要する治療を頼まれることも多い。貴重な休日は、家族との時間を楽しむ。

競輪選手の夫とは時間がなかなか合わないが、娘の菜花ちゃん(2)と一緒におやつを作るのが楽しみだ。近隣の動物園に出掛け、ゾウやシカなどに餌をやることも。「仕事では分刻みで動いていて、常に緊張状態。娘と1日いると、おながよじれるくらい笑わせてくれることが1度はある」と頬を緩める。

以前は、仕事の日に乗馬クラブへの診察に連れて行くこともあったが、1歳半で保育園に通うようになってからは、一緒にいられる時間がさらに減った。「休日は娘にとっても大切。母親の私と1日、一緒にいられるだけでいいみたいです」

休日は、菜花ちゃんの成長を実感する貴重な時間。「また明日から頑張ろうという気持ちが湧いてきます」

2014年11月24日 08時00分 Copyright © The Yomiuri Shimbun

### Point of View

◎この方を取材した番組を見ませんでしたか。小さいころから馬が好きで、競馬の騎手を目指すも規則で資格が取れず、最後には馬の歯医者さんになったそうです。馬に蹴られて足を骨折してもくじけなかったところは筋金入りですね、そのうち「動物専門の歯科医院」ができるかもしれません。

## ▼一部の人ではバイリンガルになる脳内ネットワークがあらかじめ存在する

ヘルスデージャパン

[http://www.healthdayjapan.com/index.php?option=com\\_content&view=article&id=5430%3A2014128&catid=51&Itemid=104](http://www.healthdayjapan.com/index.php?option=com_content&view=article&id=5430%3A2014128&catid=51&Itemid=104)

一部の人では、第二言語を習得するための神経ネットワークが脳内にあらかじめ存在するらしい——こんな研究結果が、「Journal of Neurolinguistics」に近く掲載される。ただしこうした個人差にかかわらず、母国語以外の言語を学ぶ努力をすれば、誰もが脳の働きを高められる可能性が高いという。



米ペンシルベニア州立大学脳・行動・認知センター副所長の Ping Li 氏は、第二言語の学習前後に脳内ネットワークで起きる変化を調べ、その変化の個人差を予測した。英語を母国語とする 39 人を対象として、23 人に 6 週間、中国語の語彙を勉強してもらい、語学コースの前後に MRI で脳をスキャンした。

その結果、中国語の学習に最も成功した被験者では、特定の思考および言語スキルを扱う脳領域間の接続性が最も良好であった。ただし興味深いことに、習得能力の高い学習者の脳内ネットワークは、学習する前から良好に接続していたという。

「第二言語の学習に優れる神経ネットワークをあらかじめ持っている人がどのくらい存在するのか、この種のネットワークを訓練によって増やすことが可能なのかは不明である」と Li 氏は述べている。

なお、全体として、学習後には脳の接続性や統合性が高まっていた。Li 氏は、「新たな言語を学ぶと、言語を扱う脳領域が活性化することがわかっている。しかしこれらの異なる領域がネットワークとしてどのように接続するかはわからない」と話し、「それでもこれらの接続性は長期的に有用で、バイリンガルは平均的に認知症になるのが遅いことがわかっている」と述べている。(HealthDay News 平成 26 年 11 月 26 日)

#### Point of View

◎「バイリンガル」というと何か憧れを感じてしまいます。ましてや 3 カ国語、4 カ国語・・・と増えてくると、尊敬の念さえ起ってきますね。でもこの能力を研究して将来、普通の人でも数カ国語を話せるようになれば素晴らしいことだと思いますか。

しかもそれで認知症の予防になるのであれば、まさに「一石二鳥」となりそうです。

今後の研究に期待しましょう。

## ▼日本人研究者が抗歯周炎の新たな消毒剤を発見

Dental-tribune <http://www.dental-tribune.com/articles/news/japan/20233.html>

オゾンナノバブル水 (NBW3) は歯周炎の原因となる 2 種類の細菌に対して非常に有効である、という研究結果が最近発表された。この新たな消毒剤は、世界の中老年者の 15~20%がその最重症型に罹患する炎症性疾患に対する新しい治療の発展に貢献できるという。

東京医科歯科大学と産業技術総合研究所の研究者らが *Porphyromonas gingivalis* と *Aggregatibacter actinomycetemcomitans* に対する NBW3 の有効性を試験管内で実験したところ、わずか 30 秒の曝露ののち、両方の細菌のレベルは検出限界以下にまで下がった。

さらに、NBW3 はヒトの口腔組織に顕著な影響を及ぼさなかったという。試験管内でヒト口腔内組織モデルである作製されたヒト由来上皮細胞を使った実験では、24 時間の曝露後に細胞の生存率がわずかに減少しただけであった。このような組織モデルは、新規の歯科材料や口腔ケア製品の毒性および刺激性を試験するために使用されるが、動物実験や単層細胞の培養試験とくらべて、ヒトでの反応予測や臨床性に、より多く関連があるという。

歯周炎治療のための従来の抗生物質治療は、細菌耐性や有害反応といったいくつかの副作用のリスクを有している。しかし、細菌、真菌およびウイルスに対する強い抗菌活性のある NBW3 はオゾンから作られており、したがって、抗菌剤耐性を誘発することはない。オゾン水は通常、短期間の効力しか保持できないが、今回の NBW3 は特許技術を用いて製造され、酸化能力を半年以上保つ。この安定性が、NBW3 をボトル詰めして消毒剤として使用することを可能にしている。

今回の研究結果は有望であるが、これらの試験管内モデルは、NBW3 の効力が歯科患者の唾液によって低減するであろう臨床状況に直接転換できるわけではなく、したがって、さらなる研究が必要である。

#### Point of View

◎論文を見る限りでは、まだまだ臨床応用には時間がかかりそうですが、これは期待したいです。この消毒剤は、オゾン由来であり、抗生物質ではないため、耐性菌の発現を抑えることができ、毒性も弱いことから、手軽に使うことが出来そうです。唾液に触れることにより、効果の低下が懸念されますが、ここをクリアしてもらい、臨床応用の実現を期待したいと思います。今後には要注目です！！

## ▼厚生労働省、医療費抑制で国保料減 市町村に取り組み促す

47news <http://www.47news.jp/CN/201410/CN2014102901000890.html>

厚生労働省は平成 26 年 12 月 29 日の社会保障審議会の部会で、市町村が運営する国民健康保険 (国保) を都道府県単位に移管した後も一律の保険料とせず、医療費の抑制や保険料の納付率向上への取り組みを保険料額に反映させる案を示した。努力次第で加入者の保険料を下げられるようにすることで、都道府県と市町村に積極的な取り組みを促す狙いがある。

現在の国保は各市町村が運営し、保険料額も財政状態によって異なる。運営を移すことにより規模を大きくして財政基盤を安定させるとともに、各都道府県が医療の効率化に主体的に関わることも期待されている。

### Point of View

◎上げ幅は別として、どんどん膨らんでいる医療費に対し、厚労省も対策を審議している状態ですね。今回の社会保障審議会の部会において、自身の努力次第で、保険料の値下げを可能にできるというのは、過去にも出てきた話題になります。医療費を使っていない人の保険料が下がるのは、ある意味平等ともいえますが、どこまでを「医療費を使っていない」と判断するか等の線引きが難しいですね。難しい問題ですが、国民が納得できるように、しっかりとした審議をしていただければと思います。

## ▼ Dengue 熱 ワクチン が 効果 と 発表 仏 の 製薬 会社 、 来 年 に も 実 用 化

47news <http://www.47news.jp/CN/201411/CN2014110401001374.html>

【パリ共同】フランスの製薬会社サノフィは3日、Dengue熱に対する世界初のワクチンの効果が臨床試験で確認されたと発表した。来年後半にも実用化するとしている。

臨床試験は感染が広がっているアジアと中南米の10カ国で、約3万1千人を対象に実施。重症化して入院するリスクが80・3%減少したという。

サノフィは過去20年間Dengue熱のワクチン開発に取り組んできた。Dengue熱はもともと熱帯に多い感染症だったが、日本でもことし8月に約70年ぶりに国内で感染した患者が確認されるなど感染地域が拡大している。有効な抗ウイルス薬やワクチンはなく対症療法が基本とされてきた。

### Point of View

◎ Dengue 熱 について、この度日本でも流行の兆しが見えていましたが、これは朗報ですね。今後も、薬とウイルスとのいたちごっこになる可能性があります。対症療法しか選択できなかった治療方針に、ワクチンが加わるのは、非常に心強いですね。早急な臨床応用を期待したいと思います。

## ▼ 適正 歯科 医師 数 82,000 名 程度 が 上限、文部 科学 省 に 回答 一 日 本 歯 科 医 師 会

医療経済新聞 <http://www.ikeipress.jp/archives/7962>

日本歯科医師会の定例記者会見が平成26年10月30日、東京・市ヶ谷の歯科医師会館で開かれた。報告の中で村岡宜明常務理事は、かねてより下村博文文部科学大臣から回答を求められていた歯科医師の適正数について次のように日歯の見解を示した。村岡常務理事は現時点で想定される推計を踏まえた結論として、①適正歯科医師数は82,000名程度が上限、②今後の新規参入歯科医師数は1,500名程度が上限、③これを実現すると20年後の人口10万対歯科医師数は71名、の3点を挙げた。これらの根拠は人口10万対50名という国の目標を踏まえたもので、1日当たり患者数、月平均診療日数等の条件を勘案して81,641名と算出。また、毎年約2,000名が新規参入する中で今後の人口推計を踏まえると、20年後に必要な歯科医師数は10万対50名という考えから80,409名となり、歯科医師数は82,000名、新規参入は年間1,500名が上限とした。

### Point of View

◎ 更なる詳細を調べるには、調査が引き続き必要かと思いますが、これは今後の歯科を考える上で、非常に有用なデータとなりうるのではないのでしょうか。歯科医師のワーキングプアについても、昨今、問題視されており、場合によっては、人口当たりに対しての適正な歯科医師人口も考慮に入れた政策も必要になってくるかもしれません。今後の注目していきたいと思います。

## ▼ 2014 年 の 最 も 革 新 的 な 科 学 ニ ュ ー ス は ? 研 究 者 129 人 が 選 定

メディカルトリビューン <http://kenko100.jp/articles/141212003258/>

バイエル薬品などは平成26年12月4日、国内の科学研究者129人が選んだ2014年の最も革新的な科学ニュースを発表した。得票率62%で1位に選ばれたのは「青色LEDの開発がノーベル物理学賞を受賞」。2位と3位にはiPS細胞関連のニュースが選ばれており、トップ3はいずれも社会への貢献や実用化などが専門家の間でも高く評価されたようだ。

今回の調査は、同社の社外との研究活動を推進するオープンイノベーションセンター（ICJ）と研究者支援事業を展開する「リバネス」との共同で行われた。対象は、国内の大学・研究所に所属する20歳代～60歳代の科学研究者129人（男性83.7%）。2014年にマスメディアで取り上げられた20件の科学ニュースのうち、イノベーション（革新）として特に評価できる研究を3つ選んでもらった。上位3件は以下の通り。

- 1位 「青色LEDの開発がノーベル物理学賞を受賞」（62.0%）
- 2位 「iPS細胞由来網膜組織の移植手術」（47.3%）
- 3位 「iPS細胞からの血小板作製技術の開発」（38.8%）

選択理由を自由に記述してもらったところ、上位 3 件に共通して「社会への貢献」や「実用化」についての意見が多く見られた。研究がどのように社会に役立つかを重視する傾向が伺えるという。5 位にランクインした「少花粉ヒノキの挿し木技術」も、こうした観点から選ばれたものだろう。

また、多くの科学研究者が「産学連携による共同研究の流れは、研究のイノベーションを促進すると思う」「今後 3 年以内のスパン（期間）で考えて、自身の研究において産学連携を推進していきたい」などと回答。同社は、産学連携によるイノベーションについて積極的な考えを示したとしている。

ICJ の高橋俊一センター長は「日本は高い基礎研究力を持ちながら産学連携に関しては他国に比べて進んでいるとは言えない。しかし、研究者との意見交換や今回の調査結果から、研究者側からの強い意欲とその必要性を実感する。企業が持つ事業化のノウハウや生活者との接点は、研究成果の実用化に大きく貢献できる。日本の研究者とともに、“日本発のグローバル創薬”を実現することにコミット（専心）していく」と述べている。

同社は、研究者の多様なニーズの高まりに対し、多角的なアプローチにより産学連携の機会を提供していくという。

#### ◆「2014 年最も革新的だった科学ニュース」トップ 10（バイエル薬品ほか調べ）

1. 青色 LED の開発がノーベル物理学賞を受賞
2. iPS 細胞由来網膜組織の移植手術（理化学研究所など）
3. iPS 細胞からの血小板作製技術の開発（京都大学、メガカリオンなど）
4. 印刷で製造可能な有機半導体回路で伝送成功（東京大学など）
5. 少花粉ヒノキの挿し木技術（岐阜県森林研究所）
6. 超高解像度の蛍光顕微鏡の開発がノーベル化学賞を受賞
7. 共有結合形成による材料接着（大阪大学など）
8. 医学文献データベースと人工知能ワトソンによる治療法戦略提案システム（IBM）
9. 糖負荷試験によるアルツハイマー病診断方法の開発（大阪大学）
10. レーザー核融合の自己加熱達成（ローレンス・リバモア研究所）

#### Point of view

◎今年の研究分野ではノーベル物理学賞を日本人 3 人が受賞したニュースが最もインパクトがあったと思います。

また、医学分野では iPS 細胞の研究がさらに応用化されてきており、病気の克服に大きな期待を感じております。歯科領域においても iPS 細胞を使った研究が進められることを期待しております。

## ▼「病は気から」、メカニズムの一端を解明—大阪大など

メディカルトリビューン <http://kenko100.jp/articles/141205003242/>

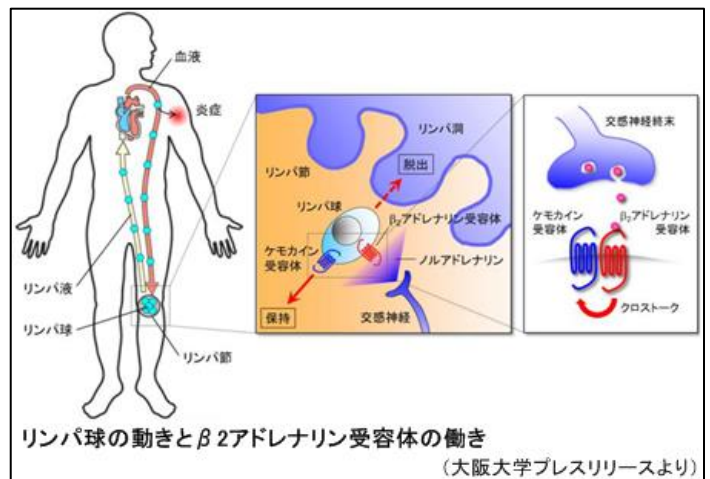
「病は気から」と昔から言われるように、ストレスや気持ちの変化によって脳（中枢神経）の動きが変わり、免疫機能に影響することはこれまでよく知られてきた事実だ。しかし、その仕組みについては不明な点が多かった。大阪大学免疫学フロンティア研究センターの鈴木博准教授らは、「病は気から」のメカニズムを解明する一端を発見したと、平成 26 年 11 月 24 日発行の米医学誌「The Journal of Experimental Medicine」（電子版）に報告した。興奮や緊張の際に活発になる交感神経が関与しているという。

体の免疫にとって重要なのが、白血球の一つであるリンパ球による“パトロール”。リンパ球はリンパ節からリンパ液の中に出て行き、リンパ液が合流する血液によって全身を巡る。

鈴木准教授らは今回、マウスを使った実験で、リンパ球の表面にある「β2 アドレナリン受容体」と呼ばれる物質に注目。調べた結果、β2 アドレナリン受容体はケモカインというタンパク質とともに、交感神経の興奮の度合いに応じてリンパ球がリンパ節から出て行く量を調節していることを突き止めた。

つまり、興奮や緊張など、ストレスや気持ちの変化によって免疫に重要なパトロールをするリンパ球の量が減ってしまうというのだ。ただし、リンパ球は体に悪さを種類もあり、アレルギー性皮膚炎のような自己免疫疾患の場合、ストレスなどの刺激でリンパ球が減ることにより、症状が良くなることも分かった。

鈴木准教授らは、今後の研究の進展により、交感神経が関与するストレスや気持ちの変化による免疫機能の変動についての詳細なメカニズムが解明されれば、「ストレス応答を制御することによる病気の治療」という全く新しい概念の治療法が開発されていく可能性があるとしている。



（大阪大学プレスリリースより）



#### Point of view

◎興奮や緊張など、ストレスや気持ちの変化によってリンパ球の数が減ってしまうということが示唆された研究結果です。ただリンパ球は多すぎても少なすぎても身体にとっては良くないようです。自律神経と免疫機能の関係のメカニズムがより具体的に明らかとなってくれば、病気の予防にも応用できるのではないかと思います。

すばらしい。早く臨床応用できるようになればいいですね。

### ▼歯科医が肺がんの唾液検査を開発

デンタルトリビューン [http://www.dental-tribune.com/articles/news/japan/21116\\_.html](http://www.dental-tribune.com/articles/news/japan/21116_.html)

米・ロサンゼルス：歯科研究者らが、唾液中の肺がんの特性変異を検出できる新技術を開発した。一連のテストでは、新しい方法を用いて唾液中の変異を検出し、血漿を用いたテストと同等に有効であることが実証された。研究者らは、この方法が非侵襲的で費用対効果がよく、従来の検査方法からの迅速な代替が可能だとしている。

電場誘起放出測定（EFIRM）と呼ばれるこの新技術は、カリフォルニア大学ロサンゼルス校で開発されたもので、研究者らは、患者の唾液から肺がんの指標となる上皮成長因子受容体遺伝子変異を検出する迅速な検査を可能にするとしている。

主に組織生検に基づいていて侵襲性があり、高価で時間のかかる従来の方法とは対照的に、EFIRMは多重化可能電気化学センサーによるもので、こうした遺伝子変異を体液から直接検出することができる。総検出時間は10分未満で、必要なのは少量の唾液サンプルのみだという。

臨床応用では、EFIRMは非小細胞肺がん患者22人の唾液および血漿中の上皮成長因子受容体遺伝子変異を検出した。また、非小細胞肺がん患者40人の唾液サンプルで行った盲検試験では、気管支鏡による検出とほぼ同じ結果が得られた。

この結果は、肺がんの早期発見のための効果的かつ非侵襲的な手法のさらなる開発に関し、重要な意味合いをもつ。早期発見は、肺がん患者群での生存率を大幅に改善するからだ。この新しい手法は組織のDNA検査と組み合わせることができ、またDNA抽出に不十分な腫瘍サイズの場合、生検を補完するものとしての使用も可能である。

#### Point of view

◎少量の唾液サンプルで、しかも10分未満という短時間で肺がんが発見出来る可能性が示唆された研究です。唾液検査であれば侵襲もなく、手軽に検査できるので、非常に画期的なことであると思われます。カリエスリスクなどの唾液検査と一緒に肺がんリスクも分かれば、歯科医院でも手軽に検査が可能となるでしょう。今後の研究に注目する必要があります。

ねえ、知ってる？

### ▼キスをすると8,000万個の細菌が移る

ヘルスデージャパン

[http://www.healthdayjapan.com/index.php?option=com\\_content&view=article&id=5402%3A800020141127&catid=51&Itemid=104](http://www.healthdayjapan.com/index.php?option=com_content&view=article&id=5402%3A800020141127&catid=51&Itemid=104)

キスはキスで終わらない——10秒間のキスで8,000万個の細菌が移動する可能性があり、毎日何度もキスをする2人は最終的に同じ細菌を持つようになることがわかった。

この研究結果は、「Microbiome」オンライン版に平成26年11月17日掲載された。オランダ、TNO微生物学・システム生物学部のRemco Kort氏らの研究。

Kort氏は、「舌全体が接触したり、唾液が交換されたりする親密なキスはヒト独特の求愛行動と考えられており、既知の文化の90%以上にみられる。我々はパートナーが口腔微生物叢をどの程度共有するのかを明らかにしたいと考えた。その結果、カップルがキスをするほど、似てくることが判明した」という。

今回の研究でKort氏らは、細菌を含むプロバイオティック飲料を21組のカップルに飲ませてからキスをしてもらった。その後の綿棒検体から、8,000万個の細菌が移動していたことが判明した。また、カップル間の舌の細菌は互いに知らない人の場合よりも類似していた。

ただし、全体からみれば、口内の細菌が果たす役割はごく小さい。口内には700種類以上の細菌が存在するが、体内には、疾患と戦ったり、食物を消化したりする機能を助ける100兆以上の微生物が存在する。

#### Point of view

◎キスによってカリエスや歯周病がカップル間や、家族間でうつるということの裏付けとなる研究です。カリエスや歯周病があると、本人だけでなく、大切なパートナーや家族も口腔内の健康が害されることとなります。このことがもっと世間に広く認知されれば、口腔ケアの重要性もより認識されることでしょう。

## 第 18 回

## 三 処方せんの交付

イ 処方せんの使用期間は、交付の日を含めて四日以内とする。ただし、長期の旅行等特殊の事情があると認められる場合は、この限りでない。

ロ 前イによるほか、処方せんの交付に関しては、前号に定める投薬の例による。

処方せんの使用期間は、原則、交付日から 4 日です。

きちんと薬を服用  
しますね！！



処方せんを 4 日  
以内に、薬局に持っ  
ていってください

## 四 注射

イ 注射は、次に掲げる場合に行う。

(1) 経口投与によって胃腸障害を起すおそれがあるとき、経口投与をすることができないとき、又は経口投与によっては治療の効果を期待することができないとき。

(2) 特に迅速な治療の効果を期待する必要があるとき。

(3) その他注射によらなければ治療の効果を期待することが困難であるとき。

ロ 注射を行うに当たっては、後発医薬品の使用を考慮するよう努めなければならない。

ハ 内服薬との併用は、これによって著しく治療の効果を上げることが明らかな場合又は内服薬の投与だけでは治療の効果を期待することが困難である場合に限って行う。

ニ 混合注射は、合理的であると認められる場合に行う。

ホ 輸血又は電解質若しくは血液代用剤の補液は、必要があると認められる場合に行う。



注射は、患者の既往歴や病状を考慮した上で、  
「注射によって、より高い効果を期待できる」と診断したときに、行われます。



注射は、必要と判断された時に、適切に！！

---

 広 報 部
 

---

FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオスタート  
お口の健康ひろば デンタルパーク 毎週月曜日午前 11 時から



広島市歯会提供のお口の健康ひろば「デンタルパーク」がインターネットラジオで聴けます。  
FM ちゅーピーのホームページ <http://chupea.fm/> の上記 FM ちゅーピーのロゴをクリックすると、ネット放送を聴くことができます。

## 12月22日収録、1月5日放送分

安佐歯科医師会 今岡康一

「歯を失ったままにしておくとうなるの？」  
+ Q&A

歯を失う原因には、むし歯、歯周病、ケガなどあります。年齢とともにその原因も変わっていきます。歯を失った状態にしておく、どうなっていくかということをお話します。

## 12月22日収録、1月12日放送分

安佐歯科医師会 瀬川和司

「歯を失ったところはどするの？」

歯を失ったところの治療法には、義歯（取り外し式の入れ歯）や、ブリッジ（固定式のかぶせもの）などがあります。それぞれの方法には適応症や問題点があるため、それらを踏まえ、治療法を選ぶ際の注意点を解説します。リスナーの質問にも回答します。

## 12月22日収録1月19日放送分

安佐歯科医師会 平川正彦

「みがき残しに歯周病の原因菌」

歯を失う原因の7割以上が虫歯と歯周病です。その歯周病の原因菌は、磨き残しに存在しています。プロフェッショナルケアとセルフケアで、磨き残しをなくし、体の入り口であるお口を健康に保ちましょう。

## 12月22日収録1月26日放送分

安佐歯科医師会 守本優子

「歯並びのよい子に育てるヒント」

歯並びには、食習慣・生活習慣・くせ、などの要因が関連しています。歯並びのよい子に育てるには、小さな頃から、悪いくせに気を付ける・よく噛んで食べる・生活リズムを整える、等の健康的な良い習慣をつけることが基本です。

## 12月定例理事会報告

### 「部外報告」

- 1 1月27日 広島ホームテレビとの会談
- ” 広島市国民健康保険運営協議会
- 1 1月29日 8020 推進財団学術集会  
「第12回フォーラム」
- 1 2月 1日 (県)第4回会館建設委員会
- 1 2月 5日 県病院「忘年会」
- 1 2月13日 参与会
- 1 2月16日 (県)会長予備選挙公示
- 1 2月18日 日本歯科医師会会長予備選挙公示
- 1 2月19日 広島市教育委員会より感謝状受贈
- 1 2月25日 (県)第1回会館建設小委員会
- 1 2月2、13、14、18-22、25日 社保診療報酬審査会

### (連盟関係)

- 1 1月28日 ゆざき知事を囲む県政懇談勉強会 2014年11月度
- ” 選挙対策説明会
- 1 1月29日 広島県歯科医師連盟常任理事会
- 1 2月 2日 衆議院議員選挙公示
- ” 岸田文雄候補出陣式
- 1 2月 4日 岸田事務所陣中見舞い
- 1 2月10日 岸田候補総決起大会
- 1 2月14日 衆議院議員選挙投票日

- 1 2月19日 ゆざき知事を囲む県政懇談勉強会 2014年12月度

### 「総務関係」

- 1 2月 3日 南区支部会
- 1 2月 6日 西区支部会
- 1 2月 9日 公衆衛生部忘年会
- 1 2月10日 新規開業会員との意見交換会
- 1 2月11日 慰労会
- 1 2月17日 第5回支部長・副支部長会
- 1 2月19日 岡村泰治先生お通夜
- 1 2月20日 広島市歯科医師会  
クリスマスパーティー
- 1 2月22日 三役会
- 1 2月27日 定例理事会
- ” 島末一則先生、本会監事辞任  
仕事納め

### (慶弔関係)

- 1 2月17日 東区支部 岡村泰治先生ご逝去
- 1 2月19日 広島市教育委員会より  
紙芝居の感謝状受贈
- 1 2月21日 南区支部 水内裕之先生ご尊父  
ご逝去

### (入会退会関係)

- 1 2月 1日 南区支部 河村修司先生入会
- 1 2月11日 南区支部 河村修司先生入会后



面談  
12月31日 中区支部 伊勢田茂光先生  
任意退会

### (1) 公衆衛生部

12月2日 岸田文雄出陣式  
(白神社前緑地帯)  
12月9日 公衆衛生部定例委員会 忘年会  
12月10日 衆議院選挙広島市支部推薦候補  
激励会 (国際会議場フェニックス)  
(県) 地域保健部、学校歯科保健部、  
介護・福祉医療部常任委員会、  
忘年会  
12月11日 広島市歯科医師会役員と  
事務職員との慰労会  
12月20日 広島市歯科医師会  
クリスマスパーティー  
12月27日 広島市歯科医師会理事会 忘年会  
**<学校歯科保健> (上田理事)**  
11月29日 8020 推進財団学術集会  
第12回フォーラム 8020  
12月2日 (県) 平成26年度8020運動推進  
特別事業  
12月3日 南区支部会  
12月10日 8020 推進財団歯科保健推進  
事業広島特別支援学校歯科  
保健指導  
12月18日 8020 推進財団歯科保健推進  
事業広島特別支援学校歯科  
保健指導  
12月22日 広島県教育委員会との協議  
12月24日 広島市学校保健会26年度  
開放編集委員会  
**<高齢者歯科保健> (小松理事)**  
11月27日 (社福) 福祉広医会理事会・評議  
委員会 (悠々タウン江波  
地域交流センター)  
" 中区第4合議体介護認定審査会  
11月28日 (県) 平成26年度口腔保健推進  
事業重度障害者等医療推進  
歯科医師養成事業第2回委員会  
11月29日 (中区地対協) 在宅医療推進  
研修会 (大手町平和ビル5階  
大会議室)  
12月3日 第4回摂食嚥下セミナー・  
シリーズ第2弾検討委員会  
12月4日 広島市社会福祉審議会第7回  
高齢福祉専門分科会  
" 中区第4合議体介護認定審査会  
" 西区ケアマネージャー研修会

12月5日 (県) 障害者歯科診療に関する  
座談会 (廿日市市総合健康福祉  
センター)  
12月9日 国泰寺地域包括支援センター  
主催フレッシュ教室  
(本川小学校内本川ひろば)  
12月11日 中区第4合議体介護認定審査会  
12月12日 広島市社会福祉審議会第8回  
高齢福祉専門分科会  
12月13日 瀬戸内福祉と医療を語る会  
(南区地域福祉センター)  
12月14日 (県) 重度障害者等医療推進  
歯科医師養成研修会  
12月17日 市民病院歯科・口腔外科との協議  
12月18日 中区第4合議体介護認定審査会  
12月25日 中区第4合議体介護認定審査会  
**<一般歯科保健> (能美理事)**  
11月26日 広島市障害者施策推進協議会  
12月1日 (県) 事業所における歯周疾患  
検診促進に関する普及啓発事  
業第2回委員会  
12月7日 広島市歯科医療福祉対策協議会  
対応  
12月14日 (県) 重度障害者等医療推進  
歯科医師養成研修会  
12月19日 第1回節目年齢歯科健康診査  
啓発ツール作成小委員会報告事項

### (2) 学術部 (本山理事)

11月27日 ホームテレビ来館  
11月28日 県警本部長 挨拶  
12月2日 広大救急救命  
貞森先生打ち合わせ  
12月6日 レーザー歯学会 (東京)  
12月8日 広大 栗原教授打合わせ  
12月10日 新規開業会員との意見交換会  
12月11日 入会後面談 (河村修司先生)  
12月12日 学術部委員会  
12月13日 接着歯学会 (神戸)  
12月14日 広大 医療安全支援機構研修会  
12月15日 警察歯科小委員会  
12月18日 県警本部意見交換会  
12月20日 広島市歯科医師会  
クリスマスパーティー

### (3) 保険・医療対策部 (瓜生理事)

11月28日 選挙対策説明会  
12月2日 岸田文雄出陣式  
12月3日 (県) 改定率調査委員会  
12月4日 YMCA 歯科助手コース講義

- 12月10日 岸田文雄決起大会  
 // 新規開業会員との意見交換会  
 12月11日 YMCA 歯科助手コース講義  
 // (県)保険部常任委員会  
 // 国保連合会歯科再審査部会  
 12月12日 広島県庁医務課と面談  
 12月13日 (県) 参与会  
 12月13日-17日  
 国保連合会歯科審査部会  
 12月17日 委員会  
 12月20日 広島市歯科医師会  
 クリスマスパティー

#### (4) 情報調査部 (水内理事)

- 11月28日 選挙対策説明会  
 12月 2日 委員会  
 12月 3日 南区支部忘年会  
 12月10日 新規開業会員との意見交換会  
 12月11日 事務局との慰労会  
 12月14日 (県) 重度障害者等医療推進  
 歯科医師養成研修会  
 12月19日 委員会  
 12月20日 広島市歯科医師会  
 クリスマスパティー

#### (5) 広報部 (橋岡理事)

- 12月 3日 委員会  
 12月 9日 小委員会  
 12月10日 新規開業会員との意見交換会  
 12月12日 FM ちゅーピー(堀部様)と協議  
 12月20日 広島市歯科医師会  
 クリスマスパティー  
 12月22日 FM ちゅーピー収録(安佐歯会)  
 (今岡康一氏、瀬川和司氏、  
 平川正彦氏、守本優子氏)  
 FM ちゅーピー(新聞掲載)  
 12月 1日 「広島土砂災害その後・  
 デンタルパークQ&A」  
 本山智得(広島市)  
 12月 8日 「歯周病ってなあに」  
 中村隆一(広島市)  
 12月15日 「あなたは大丈夫? 歯周病」  
 中島 克(広島市)  
 12月22日 「広島市歯科医師会の耳より  
 情報」  
 久保美貴(広島市)

(6) 広島市歯科医師会ホームページについて  
 ホームページアクセス数  
 一般サイト 訪問者 435 (累計 12,688)

ページビュー 1,820 (累計 68,264)  
 会員サイト 訪問者 502 (累計 10,858)  
 ページビュー 10,054 (累計 126,650)  
 情報調査部 … Talking Heads<最新情報>  
 掲載件数 165 件 (11/21~12/20)

#### (7) 特別委員会

- 12月11日 (県) 第4回会館建設委員会  
 12月25日 (県) 第1回会館建設小委員会

#### (8) 救急蘇生委員会

#### (9) 苦情相談

- 12月11日 相談 生活保護者ではない患者  
 の診療報酬一部負担金不払い  
 について(会員)

#### 協議事項

- (1) 会費について(1名)  
 診療形態の変更に伴う会費額変更に  
 ついて承認
- (2) 入会について  
 中区支部入会希望者、西区支部入会  
 希望者について報告協議
- (3) 観音高校の学校歯科医の選定について  
 前任者の退任に伴う選定について協議
- (4) 学校歯科医協議会の講師について  
 講師及び講演内容について協議
- (5) 節目年齢歯科健康診査について  
 会員送付文書「節目年齢歯科健診の  
 受診率の向上について(お願い)」に  
 ついて協議
- (6) 平成26年度災害歯科コーディネーター  
 研修会について  
 研修会の理事出席について協議
- (7) 広島 YMCA 講師派遣について  
 退任講師の公認について協議
- (8) 歯科医師免許返納退会者の餞別について  
 本会福祉共済規程に基づき協議
- (9) だより及び太田川に送付先について  
 送付先リストについて協議
- (10) 特定資産の管理・運営に関する規程に  
 ついて  
 同規定について理事会承認
- (11) 懲戒委員会委員について  
 委員について理事会承認、今後の同  
 委員会運営について協議
- (12) 広島市歯科衛生連絡協議会監事について  
 島末監事の退任による後任について、  
 本会監事である岡松友和先生とする

- ことを承認
- (13) 本会事務局移転について  
(県)第4回会館建設委員会及び  
(県)第1回会館建設小委員会について  
報告  
県歯会より、従前の「区分買取」に加えて  
「建設費負担による無償貸与」条件の提示  
を受けたことに対し、本会としての対応  
について協議し、従前通り「土地所有

を含めた区分買取」の方針でいくことを  
理事会決議。

- (14) 新年互礼会について  
当日の運営について協議
- (15) その他  
特になし

その他  
特になし

会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当  
部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、  
広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事橋岡優までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局 E-Mail: hirosshima@dentalpark.net

広報部担当理事 橋岡優 E-Mail: s.d.c@helen.ocn.ne.jp

## 役員改め「委員長紹介」 わたしはダレでしょう！ No,15



答えは次号で！



先月、第92号 No,14 の答えは、

有馬隆公衆衛生部委員長です。